

第447回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>1. 令和3年度施政方針について</p> <p>1 市長の市政運営並びに課題に対する基本的な考え方について</p> <p>(1) 市長は、平成28年11月就任以来「市政課題を先送りしない」「将来世代にツケを残さない」という思いを胸に市政運営にあたり、「市民の笑顔あふれる白石」の実現とともに、将来にわたって「持続可能な白石市」「選ばれるまち白石市」の実現に向けて、積極果敢にチャレンジしてきたと述べられました。確かに、市長就任以降、地方創生事業を活かして「しろいしSunPark」開設、スマートインターチェンジの整備の必要性が認められ、国から新規事業箇所採択される等、目に見える大きな成果を出されています。</p> <p>これまでの市政運営を振り返り、市政課題解決に向け全力疾走で取り組まれ成果を上げてきたご自身の感想をお聞かせください。</p> <p>(2) 令和3年度は白石市が大きく発展する大きな節目の年と述べられ、積極果敢にチャレンジすることを表明されました。節目とする認識と第六次白石市総合計画の諸課題の実現にかける市長の決意をお聞かせください。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス終息は、先が見えず長期化が見込まれると思います。人類を脅かす感染症に対処するため、本市は市民生活への支援、雇用の維持と事業の継続、感染拡大防止を柱とした独自の支援策に取り組んできましたが、なお長期化を覚悟して更なる対策を要するのではないかと考えます。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で疲弊する地域経済対策をどのように講じていくのか伺います。</p> <p>(2) 2月1日付けで「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置し、白石市医師会と連携してワクチン接種体制の整備を進めていると思います。接種の方法は、個別式か集団式なのか、事前に送付する接種券に予診票を同封するのかどうか、副反応などに不安や疑問を抱き接種をためらう市民の声を耳にしますと市民の相談に応じる必要があると考えます。</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種が円滑に行われるよう、万全の体制整備になっているのかについて伺います。</p> <p>3 地方創生について</p> <p>『白石市まち・ひと・しごと創生「第2期総合戦略」』に基づき、「第六次白石市総合計画」との整合性を図りながら地方創生をさらに推進するとしています。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>どのように整合性を図るお考えなのかお聞かせください。</p> <p>4 スマートインターチェンジの整備と工業団地の整備について スマートインターチェンジの整備は、交流人口や関係人口の拡大と円滑な物流の確保など、地域間の相互連携により相乗効果を生み出す『地域活性化の起爆剤』であるとし、地元企業からも大きな期待が寄せられており、整備によって、新たな企業誘致の実現や企業活動の支援、中心市街地の活性化や観光振興、地域医療の充実、災害支援など、様々な効果が期待できると述べています。同時に新たな工業団地の整備を推進するとしています。</p> <p>市長がおっしゃるように、本市が一層の成長を成し遂げていくためには、地域間のネットワークを強化するための幹線道路をはじめとする社会基盤整備が必要不可欠です。新年度から組織の一部再編により「スマートインターチェンジ・企業立地推進室」が新設されます。</p> <p>したがって推進室が中心になって整備事業に取り組んでいくものと考えますが、(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺地域の整備と工業団地造成などの構想については、具体的に、今後どのように進めていくお考えであるのか伺います。</p> <p>5 「第六次白石市総合計画」に掲げる分野目標の施策について</p> <p>目標1 <人・文化を育む>について</p> <p>(1) 生涯学習の推進については、共同学習を支援し、住民自治力を育むとしています。</p> <p>生涯学習においては、全ての人が、自らの意思で、何歳になっても、容易に学ぶことができる環境を促進することが重要だと考えます。急激な社会環境の変化の中で、生涯学習における「リカレント教育」、職業能力の向上や人間性を豊かにするための社会人の再教育への視点について、本市はどのように考えなのか伺います。</p> <p>(2) スポーツの推進について、市民の皆さんがそれぞれのライフステージに応じて、気軽に多種多様なスポーツを楽しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」などのシステム構築を検討して生涯スポーツを推進するとしています。具体的に市長のイメージはいかなるものか、お聞かせください。</p> <p>目標2 <みんなが地域づくりを進める> について</p> <p>(1) 厳しい財政状況の中で「集中改革プラン(第4次改訂版)」に基づき業務の効率化や自主財源の確保、経費の節減・合理化を推進されてきましたが、これまでの効果について伺います。</p> <p>(2) 「ふるさと納税寄附金」は、年々、大変に大きな伸びを示していますが、新年度に「ふるさと納税推</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>進室」を設置して、納税寄附金に関する利便性の向上や返礼品の充実を図ることを示されました。自主財源の確保の観点から、今後戦略的な対策を講じようとするものと捉えています。</p> <p>さらなる増額を図るため、いかなる対策を講じようとするか伺います。</p> <p>目標3 <暮らしをともに支え合う>について</p> <p>(1) 母子保健と子育て支援について</p> <p>妊娠期からの切れ目のない支援を行っていくことを目的とする、日本版「ネウボラ」ともいべきワンストップの子育て支援施設「子育て世代包括支援センター」が本年3月に開設。また、令和3年度から「産婦健康診査費用助成事業」を実施して、産後の初期段階における母子に対する支援を強化することで、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制が整備されることに期待します。</p> <p>オンライン相談や電子母子手帳アプリの利用などSNSを活用した相談体制の構築もされることなどから、実際にはどの程度の効果が期待できるとお考えになっているのでしょうか。</p> <p>(2) 地域医療体制の充実と健康づくりの推進について</p> <p>安心できる地域医療体制の確保のため、白石市医師会や仙南歯科医師会白石支部とさらなる連携を図り、安全・安心な医療の提供体制強化に努めること、また、公立刈田総合病院は、みやぎ県南中核病院との連携を推進しながら経営健全化を目指し、地域医療の充実を図ると述べられました。</p> <p>病院が存続し命と健康を守ってもらえるものなのか市民の不安感が日増しに増幅してしまい、地域医療の安心を確保する責任は重大であります。そして、いまや新聞報道、テレビ放映され県内他市町村でも事態の推移を注目している市政課題です。</p> <p>病院の財政悪化から経営形態を公設を前提に公営を継続することよりも、民間手法を取り入れることが可能とする指定管理者制度導入かの選択を提示したことから始まっていますが、市長は、刈田病院は「市民の命と健康をまもる砦」として経営健全化のためには、公立病院として維持しながら、医師確保を含め実績ある医療法人等の民間病院経営手法を指定管理者制度を活用して良質な医療提供を実現する姿勢を貫いてきました。混迷は、病院管理者間で意思の疎通が十分でなかったことから、刈田病院の将来の姿を具体明確に市民に示せないできていることが原因と判明しました。報道を通じて病院正副管理者会議で、組合運営の病院から組合を解散して、白石市が単体で病院を運営していく方針でいくことが正式に確認されたと承知しています。</p> <p>刈田病院は、みやぎ県南中核病院との連携プランを軸にして、どのような診療体制になり、入院、外</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>来も安心して診療が受けられる姿になるのかを具体的に説明する責任があります。市民の不安を払拭する真摯な姿勢が求められていると思います。</p> <p>これからのスケジュールも含め、刈田病院が市立病院となり診療体制がどのように確立するのか等をお話してください。</p> <p>目標4 <安全・安心を守る>について (1) 消費者行政の推進について 今もって特殊詐欺や悪質商法などの被害が後を絶ちません。広報紙やホームページを活用した情報の提供や世代に応じた啓発活動はゆるまずに進めていくことが肝心なことと考えます。</p> <p>同時に消費生活相談員の知識と技能の習得が大切です。複雑で高度な判断が求められる案件もあるかと思えます。法的な知識も求められるのではないのでしょうか。相談対応機能の向上策について伺います。</p> <p>目標5 <活力・賑わいを創る>について (1) 白石ブランドの確立・活用について 白石三白野菜をはじめとする農林産物のブランド化を推進すると述べています。どのようなものをブランド化する構想なのかお聞かせください。農林産物の付加価値をあげるために、何を考えどのように進めるのでしょうか。</p> <p>(2) 農林業の振興について 農林業従事者の高齢化率が高く、今後、人口減少・少子高齢化が進む中で、労働力不足が予想されると指摘されています。そこで、新規就農者の確保や農地の集積・集約を進めていく事が必要なことから、農用地の利用効率化と農地の流動化を図るため「農地中間管理事業」によって農地集積し、生産基盤の強化と耕作放棄地の発生防止に努めるとしています。本市の農林業の実態について伺います。</p> <p>(3) 森林の保全について、森林環境譲与税などを活用し、森林資源の維持や多面的機能の持続的発揮・促進を図る、としています。</p> <p>平成31年度から森林環境譲与税が創設され、本市においても一定の税収になります。本税の趣旨は、山間部の整備等を想定したものですが、山間部のない都市部の自治体にも配分される点から、山間部の資源を都市部でも活用し、循環させることも重要であると言われています。</p> <p>本市においても、森林環境譲与税を、山間部の維持管理だけでなく、都市部での木材利用の促進、公共施設などへの木材利用を促進することも重要です。この点はどのようにお考えでしょうか、伺います。</p> <p>目標6 <まちの未来を描く>について (1) 公共交通網の確保について</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>地域の公共交通網の維持は、自治体が主体的に取り組まなければならない課題となっています。公共交通の維持・充実は、市民生活を支える本市の持続発展に不可欠なものであると考えます。公共交通の維持・充実における市の責任について、どのように考えているでしょうか。</p> <p>(2) 市民バスは、利用実績や市民ニーズの調査・分析を行うとしていますが、高齢者や不便な地域に住む市民の移動支援について、乗合タクシー拡張やあるいはデマンド交通などはどのように検討されているのでしょうか。</p>	市 長
2	1番 高 子 秀 明	<p>1. 令和3年度施政方針について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策について 現在宮城県内そして仙南地区においても、感染症対策の効果があり新規感染者数は微増であり、本市においては増加がありません。しかし、2月15日市長定例記者会見では、感染予防のための呼び掛けがありませんでした。 「新しい生活様式の実践」「3密を避ける行動」を引き続き呼び掛ける必要があったのではないかと考えますが、見解をお伺いいたします。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種の対応について ① 本市においては、全市民が2回目の接種を終了するまでの期間はいつまでの見込みなのか、お伺いいたします。 ② 「市民へのワクチン接種が円滑に行われるよう、白石市医師会と連携しながら体制整備を早急に進める」とありますが、公立刈田総合病院の医師と看護師の協力については進展があると思いますので、状況説明と見解をお聞かせください。</p> <p>(3) 「第六次白石市総合計画」では、本市の目指す将来像を「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし」と定めたとのことですが、「新しい価値」とは何を指すのか、市民はどのように理解すればよいのか、具体的な説明と見解をお聞かせください。</p> <p>(4) 「第六次白石市総合計画基本構想及び基本計画」第1部序論、第2章の3 まちづくりに対する市民意識の「市民アンケート調査の結果概要」①の「満足度・重要度」について、「働く場」「地域の医療」「交通の便」「子育て環境」「高齢者の暮らし」「観光地としての魅力」「障がい者の暮らし」「防犯、防災対策」の満足度が低く重要度が高い8項目について、この8項目は市民生活において不安要素となっている今、手厚い施策を早急に実行すべきであると考えますが、この結果について市長の見解をお伺いいたします。</p> <p>(5) 「人・文化を育む」について</p>	市 長 教 育 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	1番 高子秀明	<p>① 子供たちの確かな学力の育成を図るため、具体的に「学力・学習状況調査」を通して、児童・生徒個人の学力の伸びをはじめ「非認知能力」「学習方略」を把握することで、より効果的な学力向上を図るとありますが、「非認知能力」すなわち数値化できない意欲・興味・関心などの能力を把握することは現状教育現場で教師がすでに行っていることではないかと考えますが、現状説明についてと見解をお聞かせください。</p> <p>② スポーツ推進について「総合型地域スポーツクラブ」などのシステム構築を検討し、生涯スポーツを推進するとありますが、多種多様なスポーツを楽しむことができるスポーツクラブとは何か、具体的な構想についての見解をお伺いいたします。</p> <p>(6) 「みんなで地域づくりを進める」について</p> <p>① 「コミュニティ活動の活性化を図りつつ、地域課題を共有しながら住民が主体となって活躍し、連携・協働によるまちづくりを推進する」とは何を意味しているのでしょうか。 後述に「多機能型自治を促進するための研修会の開催」と記されていることから、自治体単位あるいは小学校区単位の中で課題があれば、自分たちで解決しなければならないように感じられますが、このことに関しての見解をお聞かせください。</p> <p>② 「目指す将来像の実現に向けた戦略的な投資を行うなど、限られた資源を有効活用した効果的な施策の推進」について、戦略的な投資とは何を意味するのか、お伺いいたします。</p> <p>③ 「持続可能な行財政運営」について、自主財源を確保するとは、市税の滞納処分や新規滞納者の発生を防ぐことだけが自主財源の確保ではないと考えますが、見解をお伺いいたします。</p> <p>④ 「ふるさと納税寄附金」について、「白石市の魅力を発信するシティプロモーションと捉え、より多くの方々に白石市を継続して応援していただきながら、交流人口や関係人口の拡大にもつながるよう努めます。」とありますが、白石市にふるさと納税されている方々の年齢層や居住地など、細かなデータを把握している内容の説明をお願いいたします。</p> <p>(7) 「暮らしをともに支え合う」について 「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現に向けて誰もが地域において役割を持ち「他人事ではなく我が事」として主体的に参画し、人と人、人と資源が世代や分野を越えて、丸ごとつながり互いに支え合いながら住み慣れた場所で安心して暮らすことができるまちづくりを推進することを目標とされていますが、地域福祉の推進、子ども・子育て支援の充実、幼児期の教育・保育の充実、妊娠期からの切れ</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	1番 高子秀明	<p>目のない包括的な支援の充実、安心して子育てができる環境の整備、高齢者福祉、障がい者福祉の充実などにおいて、若干の事業追加がありますが、各福祉事業は昨年の施政方針とほぼ同等でありながらも、地域医療体制の充実と健康づくりの推進において、公立刈田総合病院についての記述が極端に減っております。</p> <p>市民アンケート調査結果からみても、地域の医療が施策の重要度が一番高いと市民も意思表示しております。白石市医師会も仙南歯科医師会白石支部も医師の高齢化と後継者不足に悩まれているとお聞きしていますが、白石市の地域医療・仙南医療圏の今後について、どのようなお考えを持っているのか、見解をお伺いいたします。</p> <p>(8) 「安全・安心を守る」について</p> <p>① 本年2月13日に発生した福島県沖地震の際には、即座に警戒対策本部を立ち上げ、避難所の開設等、東日本台風を教訓に防災体制の迅速な対応においては実際に見て聞いて、大いに評価いたします。そして、改めて被災された市民に対しお見舞いを申し上げます。</p> <p>そこで、防災・減災対策の充実と避難所における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策、高齢者・障がいの受け入れ可能な福祉避難所、避難行動要支援者への配慮など、地震・台風・集中豪雨など様々な災害への対応に関して今後の見解をお伺いいたします。</p> <p>② 今回の地震被害における公共施設の修繕修復については素早い対応を切望いたしますが、その対応と今後の見通しについてお示ください。</p> <p>③ 消費者行政の推進について、消費生活相談員の知識と技能の習得を支援し、相談対応機能の向上を図るとありますが、現在の消費生活相談員資格者や消費者行政全般を含めた見解をお聞かせください。</p> <p>(9) 「活力・賑わいを創る」について、活力に満ちた産業振興を進めるため、白石ブランドの確立・活用や高速道路などの基盤を生かした産業集積、多様な連携による新たな価値の創造などに取り組み、競争力の高い産業づくりを目指すことが目標であるとのことですが、以下の質問をいたします。</p> <p>① 「競争力の高い産業づくり」について、詳細をお示ください。</p> <p>② 農林業の振興、とりわけ農業に関して2017年の国連総会において2019～2028年を国連「家族農業の10年」と定めております。</p> <p>食糧安全保障確保と貧困・飢餓撲滅に大きな役割を果たしている家族農業にかかる施策の推進、知見の共有等を求めています、この件に関し</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	1番 高子 秀明	<p>での認識をお示してください。</p> <p>③ 商工業の振興について、新型コロナウイルス感染症の影響により市内経済は非常に厳しい状況にあります。</p> <p>引き続き、白石市企業立地促進条例に基づく企業立地優遇制度により投資を促進するとともに、既存企業に対する情報提供やサポート体制の強化など事業活動支援の充実を図るとのことですが、今までの既存企業に対する情報提供とサポート体制の実績をお示してください。</p> <p>④ 企業の投資環境の回復状況を見極めながら、企業立地セミナー参加や企業訪問などを通じてトップセールスを行い、企業立地環境や投資環境の優位性などを積極的にPRしていくために、白石市が投資環境に優位であるPRポイントをお示してください。</p> <p>⑤ 今後における白石商工会議所との連携と方向性についてはどのように考えているのか、見解をお伺いいたします。</p> <p>⑥ 雇用・就労支援の充実は「白石市創業支援等事業計画」に基づき、関係機関と連携した「創業塾」の開催などにより創業を後押しするとともに、商店街再生にもつながる「空き店舗等対策事業補助金」の活用などを通して創業を目指す方々への支援を行うことについて、関係機関とは具体的にどのような組織団体であるかお伺いいたします。</p> <p>(10) 「まちの未来を描く」について</p> <p>① 目的の一つに、「利便性の高い、安全・安心な生活基盤を確保するため、社会インフラの整備・長寿命化や公共交通の充実を図るとともに、将来のさらなる人口減少・高齢化を見据えた都市空間の整備を促進する」とあります。</p> <p>しかし、昨今の状況は「高齢者世帯・高齢者独居世帯が、白石を離れて、子や孫のもとに移住する話が多く聞かれる。若年層世帯においても同様な考えが増えていると聞き及ぶ。理由は、将来不安、医療問題」とのご意見を市民から頂戴いたしました。この現状の所見をお伺いいたします。</p> <p>② ホワイトキューブのZEB化改修に関連してお伺いいたします。蓄電システムの整備により災害時に必要なエネルギー供給が可能となることから、指定避難所としての災害時の防災機能強化を図ることとなっておりますが、2月13日の福島県沖地震による被害により現在閉館中であります。</p> <p>災害の都度の被害において、指定避難所としての機能は果たせるのか疑問ですが、今後どのように改修改善をして安全安心を保持するのか、お伺いいたします。</p> <p>③ 水道事業に関して、効率的に水道施設を管理し、</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	1番 高子 秀明	<p>50年後においても持続可能な事業運営とするため、アセットマネジメントの手法により見直しを行った経営戦略を含む「白石市水道ビジョン（改訂版）」に基づき、適正な施設管理を進めるとともに、料金体系の在り方についても検討と精査を進める、また、少人数での運営体制に対応するため、導入可能な業務は、積極的に民間事業者の導入を図るとありますが、料金体系を含めた今後の事業展望についての見解をお聞かせください。</p> <p>④ 公園施設長寿命化対策支援事業について 「令和2年度で益岡公園野球場の改修工事が完成、続けて益岡公園テニスコート関連施設の改修工事を進め、施設の長寿命化と一時避難所としての機能強化を図るため、早期完成を目指す」とのことであり、一時避難所としての機能強化を図るとありますが、具体的な機能をどう考えているのかお伺いいたします。</p> <p>(11) 「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいしへ」に関して この、むすびの本文中に「少子高齢化による税収の減少や社会保障費の増加、公共施設をはじめとするインフラ更新など、不安定な財政状況に陥ることが懸念されており、地域社会で発生する課題の解決に向けて行政がすべてを対応することは困難になっている」そして「令和3年度からの10年間で、白石市は大きく発展します。そのスタートの年となる令和3年度は、本市にとって大きな節目の年となります」とあります。</p> <p>① 「困難」と「大きな発展」という相反する言葉は整合性が取れているのか、所見をお伺いいたします。</p> <p>② 行政が対応することが困難であるのに、地域住民主体のまちづくりだけでどうやって白石市は大きく発展できるのか、甚だ疑問ですが、見解をお伺いいたします。</p> <p>③ 「選ばれるまち白石市」とは、いったい誰に選んでもらおうとしているのか。今現在、白石市にお住いの市民からも選ばれない現状になりつつあるのではないかと私は懸念しています。 行政がすべてを対応することが困難であると宣言してしまった今、市民に向けて今後の展望を語るのであれば、どんなメッセージを発するか、お聞かせください。</p>	市長 教育長
3	18番 松野 久郎	<p>1. 令和3年度施政方針について 令和3年度から「第六次白石市総合計画」がスタートします。本市が持続可能なまちであり続けるために、市民の皆さんと力を合わせて、新しい時代のまちづくりに積極果敢にチャレンジするとの市長の施政方針表</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	18番 松野久郎	<p>明から、市政運営に対する市長の施策方針について質問をいたします。</p> <p>(1) はじめに、令和3年度の予算編成においては、コロナ禍の影響もあり、財源の確保も大変であったことと思います。令和3年度の予算編成にあたって、市長の所見を伺います。</p> <p>(2) 「人・文化を育む」では、質の高い学校教育を推進し、家庭や地域の教育力の向上を図り、地域ぐるみで子どもの健やかな心身を育むこと、貴重な文化財の保護・活用や世代を超えた継承活動の活性化に取り組み、市民の皆さんのまちに対する誇りや愛着を育むことを目標にしていることを踏まえ、質問をいたします。</p> <p>① 学校教育の充実では、これまでも確かな学力の育成に取り組んで来ましたが、より効果的な学力向上を図るとありますが、これまでの効果を踏まえて今後の具体的な取り組みについて伺います。</p> <p>② 地域・家庭の教育力の向上では、地域学校協働本部を中心に、地域と学校などが連携し取り組むとありますが、少子化が進む中でどのように取り組み地域の活性化を図るのか、具体的な取り組みについて伺います。</p> <p>③ 「総合型地域スポーツクラブ」のシステム構築を検討するとありますが、具体的な取り組みを伺います。</p> <p>(3) 「みんなで地域づくりを進める」では、地域の課題を共有しながら、住民主体となって活躍し、効率的で効果的な事務事業の実施や限られた資源を有効活用した効果的な施策の推進を図ることを目標にしていることを踏まえ、質問いたします。</p> <p>① これまでも地域コミュニティの活性化に取り組み「まちづくり交付金制度」を導入するなど、地域づくりを推進してきました。これまでの施策と大きく変わる点について伺います。</p> <p>② 「地区計画策定支援交付金制度」を創設した点について、市長の所見を伺います。</p> <p>③ ICTの利活用を推進することで市民サービスの充実を図り、効率的な事務事業の実施を推進するとありますが、市民サービスの充実について、どのように変わるのか、市長の所見を伺います。</p> <p>(4) 「暮らしをともに支え合う」では、誰もが地域において役割を持ち、「他人事ではなく我が事」として主体的に参画し、互いに支え合いながら、住み慣れた場所で安心して暮らすことができるまちづくりを推進することを目標にしていることを踏まえ質問いたします。</p> <p>これまで、子ども子育て支援や赤ちゃん誕生応援事業、福祉の充実など、様々取り組んでまいりました。少子高齢化が進む中で、今後さらなる行</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	18番 松野久郎	<p>政としての支援体制が必要と考えますが、これまでの取り組みと大きく変わる点について、市長の所見を伺います。</p> <p>(5) 「安全・安心を守る」では、支え合うコミュニティの再構築と市民による主体的な活動を促進することを目標にしていることを踏まえ、質問いたします。</p> <p>① 支え合うコミュニティの再構築とありますが、具体的にどのような取り組みなのか伺います。</p> <p>② これまでも、地域や地区ごとに自主防災組織を立ち上げ取り組んでおります。また、防犯実働隊や交通安全協会等、各地区で取り組んでおります。新たに主体的な活動への取り組む内容について、市長の所見を伺います。</p> <p>(6) 「活力・賑わいを創る」では、本市の魅力を国内外に効果的に発信し、交流人口や関係人口の拡大を図り、移住・定住の促進、賑わいのあるまちの創出を目標にしていることを踏まえ質問いたします。</p> <p>① 賑わいのある商店街の再生については、賑わいの創出が非常に厳しい状況にあります。空き店舗の活用も急務です。商店街の活性化をどのように取り組み賑わいを創出していくと考えているか、市長の所見を伺います。</p> <p>② スマートインターチェンジの整備では、新たな工業団地を整備し、企業立地環境の充実を図ることにより、交流人口の拡大や雇用の創出、移住定住の促進にも期待するところですが、スマートインターチェンジ周辺全体の整備をどのように行い、賑わいの創出に向けてどのように取り組んで行くお考えなのか、市長の所見を伺います。</p> <p>(7) 「まちの未来を描く」では、美しい山並みや景観を守り、自然環境に優しい行動の実践と自然と調和した土地利用の促進、将来のさらなる人口減少・高齢化を見据えた都市空間の整備を目標とすることを踏まえ、質問いたします。</p> <p>① 市民一人一人の自然環境に優しい行動の実践と自然と調和した土地利用の促進について、具体的な市長のお考えを伺います。</p> <p>② 将来のさらなる人口減少・高齢化を見据えた都市空間の整備構想について、市長の所見を伺います。</p> <p>③ 空き家対策の推進では、「白石市空家等対策計画」を実行中ですが、なかなか進んでいないように感じます。空き家バンク制度の活用の実態と今後、有効活用をどのように促進していくお考えなのか伺います。</p>	市長
4	2番 佐藤龍彦	<p>1. スパッシュランドについて 第443回定例会に引き続き、スパッシュランドについてお聞きいたします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	2番 佐藤龍彦	<p>スパッシュランドについては、2021年度末をもって休館する方針は示されておりますが、さきの議会において、市長は「スパッシュランドをこれからも何とか存続させていきたいという気持ちは一切揺るぎないものでございます」と答弁されています。</p> <p>スパッシュランドは、一昨年秋の台風第19号による休館、昨年の新型コロナウイルス感染拡大による休館と困難な状況に追い込まれました。そのような中でも昨年8月から小中学生を対象としたフリーパスを発行する等、施設の利用促進を図っており、市長もスパッシュランド存続のために努力をされています。</p> <p>また、昨年9月の第443回定例会において、設備改修調査を実施するための予算も計上されました。しかし、2月13日深夜に発生した強い地震により、スパッシュランドも被害を受け、残念ながら休館となってしまいました。</p> <p>そこで、次の点についてお伺いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 2月13日に発生した地震によるスパッシュランドの被害状況について伺う。 (2) 第443回定例会以降のスパッシュランドの利用状況について伺う。 (3) 今後、新たに利用者を増やすための対策として考えていることはあるのか伺う。 (4) 白石市公共施設個別施設計画（長寿命化・再配置計画）について、スパッシュランドの一次評価は廃止、総合評価は「休止」となっているようだが、スパッシュランド「友の会」の皆さんは、この評価に不満をお持ちのようである。このことについての見解を伺う。 (5) 第443回定例会の補正予算で議決したスパッシュランドの設備改修調査の結果について伺う。 (6) 調査結果を受けての本市の考えについて伺う。 (7) 第443回定例会以降、市長がスパッシュランド存続のため、どのように対応されたのか伺う。 (8) スパッシュランドの今後の見通しについて伺う。 	市長
		<p>2. 本市の教育について</p> <p>本市の教育についてお聞きいたします。昨年からの新型コロナウイルス感染拡大による一斉休校により、教育現場は混乱しました。児童・生徒、教職員の皆さんも経験したことのない状況の中、学校生活を送っています。その中で、先日の市長の施政方針でも教育に力を入れていく決意が述べられておりました。</p> <p>その施政方針の内容を中心に、次の点についてお聞きいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 施政方針で「学力・学習状況調査」を通して、児童・生徒個人の学力の伸びをはじめ「非認知能力」「学習方略」を把握することで、より効果的な学力向上を図りますとあるが、その内容について伺う。 	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	16番 菊地 忠久	<p>そして山田市長は、昨年10月の市長選挙における公約で、新たに造成する工業団地周辺に道の駅とパークゴルフ場の整備を掲げられました。</p> <p>(1) 重点道の駅整備（構想）の概要について伺います。</p> <p>(2) パークゴルフ場整備（構想）の概要について伺います。</p> <p>(3) 本市には「しろいしSunPark」という、道の駅に類似した施設があります。スマートインターチェンジ周辺に新たな道の駅を整備することは、「しろいしSunPark」と競合し、最悪の場合、共倒れとなってしまうのではないかと懸念いたしますが、所見を伺います。</p>	市長
		<p>2. ふるさと納税を活用した支援について</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症拡大により、本市でも、各事業者の大幅な売り上げの減少が課題となっています。また、新型コロナウイルスワクチンの接種事業が開始されることにより、実際に接種事業の中心を担う白石市医師会には大きな負担がかかります。</p> <p>このような状況を踏まえ、両者を支援するという意味で、ふるさと納税制度を活用し「白石市医師会への支援」と題して寄附金を募り、感染症拡大によって打撃を受けている市内事業者の製造品や飲食店の食事券を新たな返礼品として提供する等の取り組みを行うべきだと考えますが、所見を伺います。</p>	市長
		<p>3. 教育改革について</p> <p>本市では令和元年度を教育改革元年として、半沢教育長が中心となり、様々な施策に取り組んでおります。</p> <p>(1) 本市の子どもたちの学力向上は喫緊の課題であり、埼玉県と共同で独自の学力テストを行うなど「学力向上プロジェクト」に取り組んでいますが、この2年間の「学力向上プロジェクト」の成果を伺います。</p> <p>(2) 4月から教育長の2期目の任期がスタートしますが、教育行政全般に対する1期目の総括と2期目に懸ける思い、意気込みを伺います。</p>	教育長
6	3番 伊藤 勝美	<p>1. 山田市長の政治姿勢について</p> <p>昨年11月、山田市長が2期目に就任されましたが、コロナ禍の影響で、12月定例会における一般質問は中止となりました。今回の定例会が、2期目最初の一般質問の機会になります。</p> <p>(1) 山田市長は、市長選挙において自らを当選させてくれた市民からの期待の根源は何であったと考え、その市民の期待にどう応えようとしているか、また、2期目に当たって、市政の諸課題に対してどのような姿勢で取り組んでいくのか、お考えをお伺いします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	3番 伊藤勝美	<p>(2) 市長が任命権を持つ副市長のことについて伺います。山田市長が幾ら頑張っても、1人では物理的に限界があることは明らかであります。市長が市内外に向けてトップセールス、トップマネジメントを展開するためにも、また、市職員の管理監督に目を行き届かせるためにも、副市長の活躍にかかってくるものと思います。市長は、市政運営に関して、副市長に何を求めるでしょうか。求めるものは何か、見解をお伺いします。</p> <p>(3) いろいろな政策を進めるに当たり、職員の力なくして市民の福祉の向上はないと思っております。そのためにも、職員をどう使いこなすかが市長の仕事の一つであると考えております。市民のために、地域のために、職員に何を望み、職員に何を期待するのか、見解をお伺いします。</p> <p>(4) 二元代表制のもと、地方自治体をつかさどるのは、行政、そして議会であります。そういう中で、市長は、議会に対してどのような考え方で接するのか、また、議会に何を望み、議会に何を期待するのか、見解をお伺いします。</p>	市長
		<p>2. 山田市長の市長としての政治手法、良識について</p> <p>(1) 常識は「一般の人間が当然わきまえているべき事柄や判断」ですが、良識は「常識よりも知的で高度な判断が加わったもの」ということを踏まえて、質問します。</p> <p>山田市長は、1月13日、地方自治法に違反してまで、刈田病院の指定管理を可能にする条例の専決処分を強硬に進めました。その専決した条例を20日以上も公告せず放置しながら、2月3日、専決処分の唐突な撤回を行い、併せて、白石市外二町組合を解散し、市立病院とすることの突拍子な表明を行いました。</p> <p>2月15日の記者会見では、今議会末に組合解散議案を提出することを記者会見で表明しながらも、2月18日、今度は、今議会に組合解散議案を提出することを撤回すると記者会見で表明しています。</p> <p>組合議会を構成する蔵王町、七ヶ宿町の住民や議員、そして白石市民からも山田市長に対する不信の嵐。山田市長の「ひとり相撲」と揶揄されてもいます。山田市長の軽々しい、朝令暮改的な判断や発言が、刈田病院の職員のみならず、数多くの地域住民に混乱と不安を招いています。</p> <p>山田市長は常々、「政治は結果」と言われています。今年に入り2か月という短期間に、刈田病院に対する方針がころころと変わり、世間を騒がせ、住民不安を増大させていることについて、山田市長はどのようにお考えになっているのか、お伺いします。</p> <p>(2) 2月15日の記者会見において、山田市長は、「(刈</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	3番 伊藤勝美	<p>田病院の) 正副管理者会議は議事録をとって公開すべきと再三申し上げているが、蔵王、七ヶ宿町長と院長は反対する」と発言しています。しかし、そのような事実はなく、これまで議事録作成を主張してきたのは小関七ヶ宿町長というのが事実であり、山田市長の発言とは正反対のようです。</p> <p>言い方は不適切かもしれませんが、公の場で事実を捻じ曲げ、他の自治体の首長や病院長を、さも悪者に仕立てあげるかのような山田市長の政治手法には不信感が募るばかりです。このことについて、山田市長の良識ある回答をお伺いします。</p> <p>(3) 同じく2月15日の記者会見において、新型コロナ対策のワクチン接種に関して、「(刈田病院の) 院長からは、医療従事者に対してはワクチン接種するけれど、市民のことは知らない、という話があった」と発言されています。</p> <p>しかし、1月21日に開催された市担当者と刈田病院正副院長との会議の際に、病院長からそのような発言はなかったと副院長先生からも伺っています。</p> <p>言い方は不適切かもしれませんが、事実を捻じ曲げ、病院長を悪者に仕立てあげることによって、ワクチン接種の遅れの言い訳とする考えとしか思えません。山田市長が発言した内容の根拠をお伺いします。</p> <p>(4) 2月18日、刈田病院で正副管理者会議が開催されました。蔵王町長が病院玄関前に到着した際、白石市の職員が「持続可能な公立刈田総合病院の構築に向けた要請書」を手渡そうとして、拒否されたと伺っています。七ヶ宿町長も拒否されましたが、山田市長だけは受け取られたと河北新報で報道されました。</p> <p>市民からも蔵王町の議員からも、私のところに「市職員の良識を疑う」、「市職員がとった非常識な行動について、何の処罰もしないのか」という話が寄せられています。このことを踏まえて、質問します。</p> <p>① 山田市長は、市職員が署名した経緯、いつ、どこで、どんな風に活動されたのか把握していますか、お伺いします。</p> <p>② 職員への署名依頼文には「勤務時間外での個人的活動であることから、地方公務員法には抵触しない」とあります。</p> <p>公務員たる市職員の「勤務時間外の行動であれば、地方公務員法には触れない」という考え方、行動に対する山田市長の見解をお伺いします。</p> <p>③ 蔵王、七ヶ宿町長は、署名の受け取りを拒否したようですが、要請の内容は、他の自治体の方針に踏み込み、否定し、批判する内容と受け止められています。山田市長は、その内容を理解した上で要請書を受け取られたのか、お伺いします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	3番 伊藤勝美	<p>④ 今回の市職員の要請行動は、蔵王町長や七ヶ宿町長という他の自治体の首長が判断した方針に対して、市民団体等が提出する要望とは異なります。</p> <p>地方公務員である市職員が、他自治体の町長の方針に異議を唱え、物申すことは、地方公務員法に反する「政治介入である」という意見もあります。今回の市職員が起こした行動について、山田市長の見解をお伺いします。</p> <p>⑤ 今回の市職員の行動は、多くの問題を抱えていると考えています。今の白石市役所は、上からの依頼を断れない雰囲気があるのではないかと考えることから、私は、今回の職員行動に対する厳しい処分を望んではいません。</p> <p>しかし、市職員を管理監督する立場にある市長として、今回の行動については、蔵王、七ヶ宿町長に謝罪すべきと考えています。山田市長の見解をお伺いします。</p>	市長
7	14番 森建人	<p>1. 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>新型コロナウイルスワクチンの接種が全国的に始まる。ワクチンの調達が段階的にならざるを得ないことから、医療従事者等、高齢者、基礎疾患を有する者や高齢者施設等の従事者、その後に16歳以上の一般の方に順次接種が行われる。</p> <p>白石市でも新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置して、円滑な接種に向けて準備していることと思われる。</p> <p>(1) ワクチン接種の目的は感染予防なのか、発症予防なのか、重症化抑制なのかを伺う。</p> <p>(2) 予約方法について伺う。</p> <p>(3) 基礎疾患のある方として、14の病気や症状が示されているが、対象かどうかをどのようにして確認するのかを伺う。</p> <p>(4) 一般の方への接種も集団接種なのかを伺う。</p>	市長
8	7番 高橋鈍斎	<p>1. 市長選挙と選挙公約について</p> <p>(1) 令和2年10月25日に執行された白石市長選挙において、4年間の実績がある山田市長と短期間での準備で立候補された対立候補者との結果は僅差であった。この選挙結果を踏まえ、市長はどのように分析しているのか見解を伺う。</p>	市長
		<p>2. 成人式について</p> <p>成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が、2022年4月1日から施行される。</p> <p>18歳、19歳、20歳の3年代が同時に成人になるわけであるが、2023年以降の成人式の対象はどのように考えているのかを伺う。</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	7番 高橋 鈍 齋	<p>(2) 市長は、議会の場において「二代表制の一翼を担っている議員の皆様と、これからもさらに議論を深めて、市政のさらなる課題、その一つ一つを解決してまいりたいと思います」としながら、選挙活動用ビラに特定の議員と議員の後援会を掲載したのはなぜか。</p> <p>(3) 選挙活動用ビラに「県との強力な人脈を最大限に生かして」とあるが、一方、公約にない刈田病院の組合を解散し、白石市立病院とするとの考えは県とのズレがあると思うが、その真意を伺う。</p> <p>(4) 選挙活動用ビラに掲げてある「豊かさを実感できるまちづくり」のうち、伝統工芸の継承と重点道の駅の設置について、今、市長が考えている構想を問う。</p>	市長
		<p>2. 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>市長は、市議会全員協議会にて「接種について刈田病院にお願いしたが、刈田病院の院長は、医療従事者には接種するが、それ以外は行わないとの返答があった」との話をされた。</p> <p>市は、白石市医師会に協力をお願いしているものの、それだけで実施できるのか。予防接種の体制や対応について伺う。</p>	市長
		<p>3. 第一幼稚園休園とその後について</p> <p>(1) 第一幼稚園休園に対し、市民の署名数は4,000名以上あり、また、令和元年12月に白石第一幼稚園を残す会から提出された請願を市議会が採択した事実について、教育委員会はどのように受け止めているのか。</p> <p>(2) 第一幼稚園休園について、市長は「市民の署名数と市議会での請願採択に対し、重く受け止めている」との答弁もあり、第一幼稚園の休園を凍結し、一年先延ばしにしてきた。</p> <p>今回、教育委員会は、再度第一幼稚園を休園としたが、これは本来、白紙撤回に相当するだろうと思うが、教育長の見解を問う。</p> <p>(3) 第一・第二幼稚園の今後の状況は、事実上の統廃合と思うが、教育長の見解を問う。</p> <p>(4) 第二幼稚園の存続を希望する声はあったとの答弁を教育長は以前されたが、その答弁に対する根拠は何か。第二幼稚園での毎日の利便性についても配慮しながら行っているとのことだが、どこを配慮されたのかお示し願いたい。</p> <p>(5) 報道によれば、新型コロナウイルス感染拡大の影響は長期にわたり、手洗いやうがいなどの感染予防対策も重要だが、三密を避けるべきとの専門家の話を聞いた。改めて、これらに対する教育長の一園休園の認識を問う。</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	7番 高橋 鈍 齋	<p>4. スパッシュランドの現状とその後について</p> <p>(1) 市長は、市政懇談会において「ありとあらゆる手を尽くした」とか「ありとあらゆる様々な方策を取っているが、残念ながらそういった財源の手当措置がない状況。しかし、決して私はまだ、あきらめた訳ではない」とか「当然、スパッシュランドを継続して開いていきたい」とか「休館ありきではない」などと発言しながら、一方で「休館する大きな方針を決定させていただいた」とも言っている。これらの発言に対し、その真意を伺う。</p> <p>(2) スパッシュランド友の会は、市の公共施設個別施設計画（案）に対するパブリックコメントの内容について、令和2年9月議会に計上した「スパッシュランド設備改修調査」の結果がまだ公表されていないのに、スパッシュランドの総合評価は「休止」となっており、これは「休止決定」してから後始末（解体検討）の計画を立てているのではないかと言っている。それに対する弁明をお聞かせ願いたい。</p> <p>(3) スパッシュランドについては、当初の計画では周辺も整備したスパッシュランドパーク事業であったと聞いている。もう一度初心に戻り、改めてスパッシュランドパーク事業を見直し、自力再興の可能性を模索するつもりはないのか伺う。</p>	市長
9	13番 大森 貴 之	<p>1. 防災・減災における市道の整備について</p> <p>防災・減災を考える上で災害に強いライフラインの構築は非常に重要であると同時に、日常生活に不具合が生じないよう日頃からの点検整備が不可欠と言えます。</p> <p>道路整備もその一つで、国道、県道はそれぞれ国、県が対応しますが、市道に関しては道路管理者たる白石市が責任をもって管理し、整備していかねばなりません。その観点から、今回は2つの路線について伺います。</p> <p>(1) 初めに、市道「福鉦線」（鎌先温泉～不忘）ですが、この路線は白石市水道二ッ森水源地に向かう道路としても利用される路線です。防災・減災の観点からも飲料水を始めとする水の確保は極めて重要な課題であります。</p> <p>二ッ森水源地は、白石市の自己水源量の3分の2を賄う重要な施設であり、市民の命の水を守るためにも、日頃からの点検整備はもちろん、災害等をはじめ、異常があれば速やかに現地に赴き対処しなければならぬ設備であります。</p> <p>防災・減災の観点からも建設課だけの問題ではなく、危機管理課、上下水道事業所等の総合力をもって対処していただきたく、以下の点について伺います。</p> <p>① 現在の道路状況をどのように判断されているの</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	13番 大森 貴之	<p>か、加えて、その判断の根拠となる確認はいつ行われたのかお伺いいたします。</p> <p>② 現地確認したところ、路肩付近が流水等により流されえぐられていたり、路肩の一部が崩落、さらには落石等により道幅を狭めている所もあり、今後さらなる悪化が懸念されますが、どう対処されるのかお伺いいたします。</p> <p>③ 現在、この路線は水源地の前後で寸断されており、管路沿いに走行していくと水源地の1km程手前で車両通行不可となります。</p> <p>その後、徒歩で水源地へ向かいますが、道幅は狭く、最も狭い所では50～60cm程しかありません。点検整備には工具等の機材が必要になると思いますが、それらの運搬はどのように行われているのかお伺いいたします。</p> <p>④ 日常の点検時はもとより、非常時の運行における安全の確保と迅速な対応を可能とするためにも、市道「福鉦線」の整備をご検討いただきたいのですが、ご見解をお伺いいたします。</p> <p>(2) 次に、白石駅歩道橋線（跨線橋）についてお伺いいたします。</p> <p>① 平成28年に「白石駅東西自由通路検討会」による報告書が提出され、種々提言がなされておりますが、その後どのような対応をされてこられたのか、また、今後どのように対処していくご予定なのか、お伺いいたします。</p> <p>② 補修整備を市が行えるようにするため、市道認定されておりますが、最近の補修整備の状況をお伺いいたします。</p> <p>③ 跨線橋を下から覗き込みますと、青空が見える箇所が数か所あります。また、金網の破損等も要所所で認められます。</p> <p>高架橋下は東北線が運行し、特別高圧電流が流れる架線が通行者の足元直下に走っております。風等による物の落下、跨線橋整備不良に伴う感電事故等の発生が危惧されますが、現状をどのように判断されておられるのかお伺いします。</p>	市長
		<p>2. 刈田病院に関する確認事項について</p> <p>刈田病院に関しては様々な情報が交錯しております。諸問題を検討する際、より正確な情報を共有することが極めて重要なことと考え、以下の項目について質問させていただきます。</p> <p>① 運営形態には「公設」「公設民営化」「民営化」の3形態があり、「公設民営」があたかも民間に完全譲渡する「民営化」のように捉えられている風潮がみうけられますが、改めて「公設民営化」とはどのようなものなのかお伺いいたします。</p> <p>② 白石市が「公設民営化」の検討を公式に始めた</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	13番 大森 貴之	<p>時点で、東北大学病院は刈田病院への医師派遣を取りやめるので検討自体行うべきでないとの声を聞きますが、実際はどうかお伺いいたします。</p> <p>③ 昨年4月に整形外科の医師2名が退職されました。医師の欠員が発生した場合、その補充は大学病院の方で行うべきと思われそうですが、その点はどうなっているのかお伺いいたします。</p> <p>④ 大学病院から医師の派遣がなされない現状において、外部からの医師招聘を試みたと伺っていますが、その結果はどうなったのかお伺いします。</p> <p>⑤ みやぎ県南中核病院との連携は「公設」以外でも可能なのかお伺いいたします。</p> <p>⑥ 病院内では、4月1日をもって閉院する可能性があるため、転職先を検討した方がよいとの情報により、医療従事者（看護師等）の方が離職されているとの話をお聞きします。</p> <p>今後、運営形態がどのようになると閉院はせず、関係者の皆さんの職を守っていただけるのかお伺いいたします。</p> <p>⑦ 正副管理者会議の内容を明確に知るには、議事録を確認することが最良と思いますが、これまでは議事録作成をこなさなかったとお聞きします。そのため、場合によっては正反対の情報が飛び交っても確認の仕様がありませんでした。</p> <p>これまで市長は、管理者会議において議事録の作成を要望してこられたとお聞きしますが、その経過と現状をお伺いします。</p>	市長
10	17番 佐藤 秀行	<p>1. 交通安全対策について</p> <p>市長は、「安全・安心を守る」ということで、あらゆる危機や災害から市民を守るため、市民一人一人の意識の醸成と自分を守るために必要な知識や技術の習得を支援するとしています。また、交通安全の充実は、交通ルールの遵守やマナー向上を図るため、引き続き交通安全関係団体と連携し、交通安全指導を実施するとともに、子供や高齢者の交通事故を未然に防止するため、交通安全教室の開催や交通安全キャンペーンなどの啓蒙活動を拡充するとしています。</p> <p>令和2年中の宮城県の交通事故情勢は、発生件数、負傷者数とも前年と比較して大きく減少しました。交通死亡事故は前年比で減少しましたが、高齢運転者の事故は前年比で増加し、自転車運転中、道路横断中がその多くを占めています。また、自転車線をはみ出での交通死亡事故が全体の4割以上を占めている状況であります。</p> <p>昨年のJAFの調査によると、信号機のない横断歩道での車の一時停止率を都道府県ごとに見てみると、全国平均の21.3%に対して、宮城県は「5.7%」。全国で最下位となっています。ドライバーの意識改革が必</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	17番 佐藤秀行	<p>要な今回の調査結果となったようですが、歩行者側も普段から横断歩道の通行時は注意することを常に心掛けることが必要だと思います。</p> <p>このようなことから、次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 昨今の本市の交通事故情勢、現状についてどのようにお考えかお伺いします。</p> <p>(2) 本市において、危険箇所、つまり交通安全面での、特に道路の注意を要する箇所、交差点等について、何か所ぐらい認識されているのかお伺いします。</p> <p>(3) その中で、見通しの悪い市道から県道に降りる道路があるということについては認識されているのか、また、そのことについて、市としてどのように対応されているのか、また、今後対応しようと考えているのかお伺いします。</p> <p>(4) 交通安全対策として、具体的に今後どのように取り組んでいかれるのかお伺いします。</p>	市長
		<p>2. 「市の教育方針等」について</p> <p>学校教育の充実、次世代を担い新たな社会の価値を創造する子供たちに対し、確かな学力の育成を図るため、平成31年度を「教育改革元年」と位置付け、様々な施策を展開してきました。特に、埼玉県と共同で行う学力・学習状況調査の分析結果を踏まえ、課題解決に向けた授業改善を宮城県教育委員会の指導・支援を得ながら強力に推進しています。</p> <p>また、中学校では、定期的に生徒個々の実力を把握するとともに、家庭と学校が学習上の課題を共有しながら学力向上を図っていくことが、子供たちの夢や志を実現するために重要であると考えていることから、現在、保護者が全額負担している実力テストの経済的負担の軽減を図っています。市長も、引き続き教育改革を進めるとしています。また、地域・家庭の教育力の向上は、地域学校協働本部を中心に、地域と学校などが連携して、未来を担う子供たちの夢に向かって生き抜く力や学びを支援します。また、地域学校協働活動に関わる地域住民や各種団体の主体性や自主性を育み、地域全体の教育力の向上と地域の活性化を図るとしています。このように、市として学校教育の充実、重要性というものを大きく掲げています。</p> <p>学校は地域の核であると思います。そのような中、本市においても児童・生徒が年々減少を続けているのが実態であります。本市の多くの地区が、地域活動の担い手が不足しており、地域活動を若手・中堅世代にどのように引き継ぐことができるのか、地域活動などへの参加が減少し、地域での世代間交流の機会が不足していると感じています。</p> <p>そこで、学区外就学について、白石市に住所を有する児童・生徒が、指定学校以外の白石市立学校に就学する制度があります。児童・生徒が就学する小・中学</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	17番 佐藤 秀行	<p>校は、原則として、住所により定められた学区の学校を教育委員会が指定します。ただし、特別な事情により、指定された学校への就学が困難な場合、教育委員会から許可を受けることで、希望する学校へ就学することができます。</p> <p>いくつかある学区外就学許可基準の中で、部活動について、希望する部活動が指定された中学校にないなど、部活動に特別に配慮を要する個別具体的な理由により、その部活動がある中学校への就学を許可する、という項目があります。</p> <p>このことよって、中学校に進学する際、学区外の中学校に進学することが可能になります。そのことはその地域に本来進学すべきであった児童・生徒がいなくなり、地域のコミュニティ不足、強いては地域の活性化をさらに減少させるものにつながっていくと考えます。そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 地域学校協働本部について、本市小中学校の現状・成果等についてお伺いします。</p> <p>(2) 小学校6年生はいつまでに進路について教育委員会、また進学先の学校へ届けるのか、その進め方についてどのようになっているのかお伺いします。</p> <p>(3) 学区外就学の部活動の項目、部活動の許可基準について、教育委員会としてどのように捉え、各小学校、保護者に対してどのように指導、また対応されているのかお伺いします。</p> <p>(4) 中学3年生の学力向上の要因は何だと考えますか、お伺いします。</p> <p>(5) この3年間で振り返っての、成果と課題についてお伺いします。</p> <p>(6) 今後3年間で目指すもの、取り組もうとされているものは何か、お伺いします。</p>	教育長
11	12番 四竈 英夫	<p>1. 福島県沖を震源とする地震への対応について</p> <p>2月13日深夜に発生した福島県沖を震源とする地震は、M7.1震度6強の揺れを観測し、宮城・福島を中心に大きな被害をもたらしました。震源の深さが海底約60kmと深かったために津波の被害はなく、亡くなられた方もいなかったことは不幸中の幸いでありました。</p> <p>本市では、同日午後11時50分に山田市長を本部長とする警戒対策本部が設置され、8回余りに及ぶ警戒対策本部会議を開催するとともに、被害状況の把握と調査を実施されました。迅速かつ的確な対応に当たられたことに敬意と感謝を申し上げます。水道の断水・濁り水には時間外にもかかわらず対処され、給水作業に当たられたことに市民の皆様も感謝しておりました。本議会初日に詳細な被害状況をお知らせいただき、改めて災害の大きさを実感させられたところです。</p> <p>そこで、次の点についてお伺いいたします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
11	12番 四 籠 英 夫	<p>(1) 2月16日現在で被害状況が取りまとめられましたが、それ以降に新たに確認された被害はあったのかお伺いいたします。</p> <p>(2) 被害に遭われた方々への対応はどのように行われるのかお伺いいたします。</p> <p>(3) 災証明書、被災証明書の交付申請は何件あったかお伺いいたします。</p> <p>(4) 申請のあった方への調査はどのくらい進んでいるかお伺いいたします。</p> <p>(5) 本市の施設についても大きな被害を被りましたが、その対応についてお伺いいたします。</p> <p>(6) この地震は10年前の東日本大震災の余震とも言われており、今後も警戒が必要と思われませんが、それらへの対処についてお伺いいたします。</p>	市長
		<p>2. 新型コロナウイルスワクチン接種への対応について</p> <p>新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されました。医療従事者、65歳以上の高齢者、一般市民の順に接種が行われるとのこと。これにより感染が抑えられ収束に向かうことへの期待は大きなものがあります。</p> <p>本市では2月1日に対策室を設置し、ワクチン接種の体制を整えたことが本議会初日に説明がありました。そこで市民の皆様にも広くお知らせするためにも、改めて接種への対応についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 担当部署と体制の内容をお伺いいたします。</p> <p>(2) 接種を受けるまでの過程をお伺いいたします。</p> <p>(3) 接種の開始時期と場所をお伺いいたします。</p> <p>(4) 高齢者等で交通手段のない方への対応はお考えでしょうか、お伺いいたします。</p> <p>(5) 接種にあたる医療機関とその連携についてお伺いいたします。</p> <p>(6) 万一、副作用のような症状が出た場合の対応についてお伺いいたします。</p>	市長
		<p>3. 本市の農業施策について</p> <p>農業は人間の生命を維持するための食糧を生産する最も重要な産業の1つであるとともに、経済活動の基盤をなす基幹産業であります。さらに、豊かな自然環境を守り緑を育てることにより、地球温暖化の抑制と豪雨などの自然災害の緩和にも大きく貢献しております。しかし、第2次、第3次産業等と比べると労働生産性が低く、いわゆる3Kに属する職業として敬遠されていることも事実であります。現に農業経営者の高齢化が進む中で後継者不足、新規就労者の低下など将来に大きな不安を抱えていることがそれらを物語っております。</p> <p>こうした現状をふまえ、本市では昨年、全農家を対</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
11	12番 四 籠 英 夫	<p>象にアンケート調査を行いました。内容は経営の現状を把握するとともに、将来の希望や計画を聴取し本市の今後の農業施策に役立てようとするものです。そこでその調査結果をふまえて、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 調査対象となった農家の戸数と回収率をお伺いいたします。</p> <p>(2) 年代別の農家戸数をお伺いいたします。</p> <p>(3) 経営の形態をお伺いいたします。</p> <p>(4) 経営規模の内容をお伺いいたします。</p> <p>(5) 将来の経営希望について、どのような回答が寄せられたかお伺いいたします。</p> <p>(6) この調査結果を分析して、どのようなことを感じられたかお伺いいたします。</p> <p>(7) 本市の農業施策を今後、どのような方針で取組まれるお考えかお伺いいたします。</p> <p>(8) 経営者の高齢化、後継者不足の中で受託組織(共業組合等)や個人受託者の果たす役割は大きなものがあると思いますが、これらについてどのような認識をお持ちかお伺いいたします。</p> <p>(9) 本市の農業を守るとともに、耕作放棄地など農地の荒廃を防ぐために、受託組織や個人受託者への支援策が必要かと思われませんが、どのようにお考えかお伺いいたします。</p> <p>(10) 市民農園の仕組みと現状についてお伺いいたします。</p> <p>(11) 農産物を生産することの尊さと喜びを広く認識してもらうために、今後さらに利用者を増やしていくことが必要かと思われませんが、対策をお伺いいたします。</p>	市長
		<p>4. 公文書への押印省略の対応について</p> <p>行政事務の効率化を進め煩雑化を軽減するために、公文書への押印の省略が全国的に進められております。本市でもこの取り組みを開始されたとのことですが、その概要についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 押印省略の目的をお伺いいたします。</p> <p>(2) 押印を省略している文書はどのようなものがあるのかお伺いいたします。</p> <p>(3) 問題点と改善点はないかお伺いいたします。</p> <p>(4) 行政手続きの押印省略だけでなく、今後さらに合理化効率化を進めるために、どういう分野でどういう検討をする必要があるかお伺いいたします。</p>	市長
		<p>5. マイナンバーの交付申請の啓蒙について</p> <p>マイナンバーカードの交付申請の促進啓蒙の案内が発送されています。この制度が発足して約5年が経過しますが、交付申請の手続きが思ったより進んでいないことから、この度の措置が取られたものと思われま</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
11	12番 四 籠 英 夫	<p>す。そこで、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) マイナンバーカードの重要性について、どのように認識されているかお伺いいたします。</p> <p>(2) 現在までの交付申請率はどのようになっているかお伺いいたします。</p> <p>(3) 申請率を向上させるため、どのような対策をお考えかお伺いいたします。</p> <p>(4) 本市の行政にどのような効果があるかお伺いいたします。</p> <p>(5) 本人にとっては、どのようなメリットがあるとお考えかお伺いいたします。</p> <p>(6) この制度によって個人の情報が一元化され統制されることを危惧する声も聞かれますが、どのようにお考えかお伺いいたします。</p>	市長
		<p>6. コロナ禍における児童生徒の心のケアについて</p> <p>文部科学省は児童・生徒の自殺予防について検討する有識者会議を開きました。これは、新型コロナウイルス流行による一斉休校などにより2020年に自殺した小中高生は、統計のある1980年以降で最多の479人で、前年対比140人増とのことから早急に対策を提言するためでした。将来ある若い命が自らの手で失われることの痛ましき無念さ、そして親族の方々の悲しみは筆舌に尽くしがたいものがあります。自殺者根絶を願わずにはおられません。そこで、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 本市の小中学校において自殺に係るような問題は発生していないでしょうか、お伺いいたします。</p> <p>(2) 原因や動機は学業不振、進路の悩みなどが上位だったとのこと。こうした児童・生徒の悩みに対して、耳を傾け心に寄り添うことが大切だとおもいますが、こうした心のケアをとっておられるかお伺いいたします。</p> <p>(3) もしそういう兆候が見られた場合には、どのような対策を取られるかお伺いいたします。</p> <p>(4) 長期休校などにより不登校やひきこもりなどが懸念されますが、そうした児童・生徒はいないかお伺いいたします。</p> <p>(5) また、以前の一般質問で、いじめなどの問題はないとの見解をお伺いしておりますが、その後もそうした問題は発生していないかお伺いいたします。</p> <p>(6) コロナ禍の収束は依然として見通しが立っておりません。感染防止の徹底を図るため、どのような対策を講じているかお伺いいたします。</p>	教育長